

静岡・山岡鉄舟会は
設立20周年



静岡・山岡鉄舟会

設立20周年記念

ご支援・ご協力
ありがとうございます。

20年の歴史を振り返って・・・

2004年（平成16年）

12月18日（土）

設立総会

から始まりました。



設立に先立って……

2004年9月12日

若杉昌敬さん(現事務局長)・松永さだよさん(望嶽亭)が
山岡鉄舟全国フォーラム(鉄舟・21・サロン主催)で講演



設立後の活動を
振り返って・・・



2006年4月22日(土)

定期総会(清水文化センター)
～懇親会(かね田食堂)

定期(年次)総会 講演と懇親会写真



2009年4月19日(日)



2010年4月25日(日)



2011年4月30日(土)



2012年4月21日(土)



2013年4月22日(日)

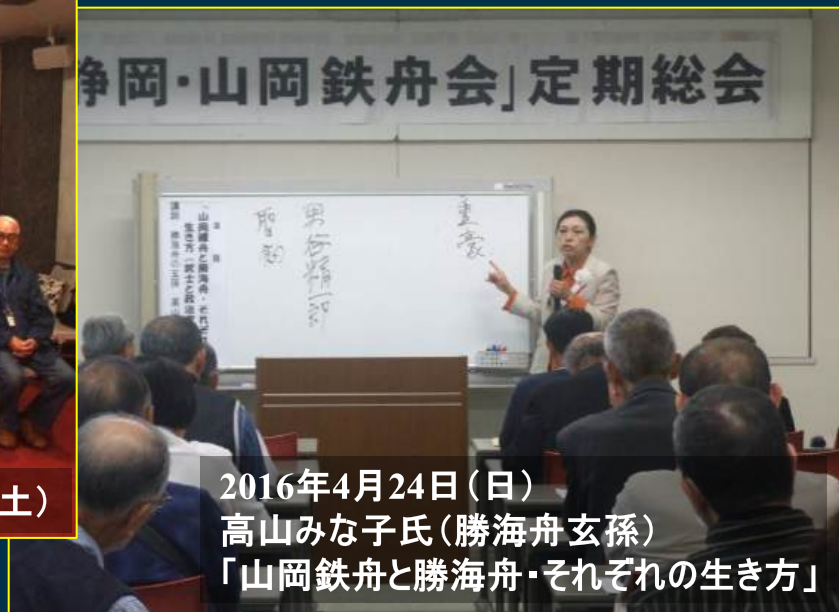


2014年4月19日(土)
講師 岩下哲典先生を囲んで

定期(年次)総会 講演と懇親会写真



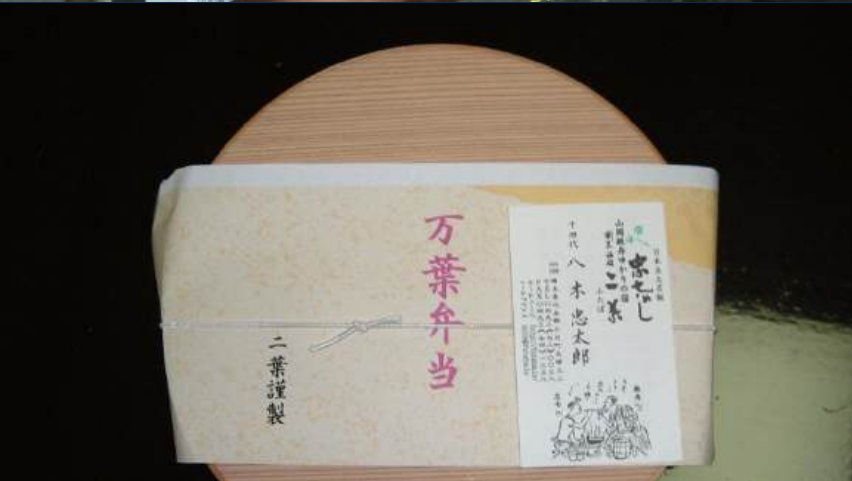
2015年4月25日(土)



2016年4月24日(日)
高山みな子氏(勝海舟玄孫)
「山岡鉄舟と勝海舟・それぞれの生き方」



2018年4月22日(日)手塚喜和子氏
「西郷・山岡会談と望嶽亭」



2006年7月22日(土)

**全生庵の山岡鉄舟毎歳忌に、
若杉さん・實石さんらが出席。
毎歳忌後、東京の鉄舟ゆかりの地を訪問した。**

**全生庵の毎歳忌に、会員数名が参加。
毎歳忌後、都内の鉄舟ゆかりの地を訪問してきた。**

全生庵の毎歳忌に出席～都内 鉄舟ゆかりの地訪問



2007年7月19日(木)
高橋泥舟の墓(谷中 大雄寺)を訪問



2008年7月19日(土)
2008.07.19



2009年7月19日(日)



2010年7月19日(月)



2012年7月19日(木)

全生庵の毎歳忌に出席～都内 鉄舟ゆかりの地訪問





2005年7月23日(土) 鉄舟忌 奉納古武術演武会 (清水不二見公民館)

～鉄舟寺での法要





2006年7月26日(水)

鉄舟寺での「鉄舟忌」

7月19日の正命日は
全生庵毎歳忌に会員数名が参加、

7月～8月の日を選んで
鉄舟寺での「鉄舟忌」を当会で開催。

※2020年から7月19日の鉄舟寺の法要に参加。

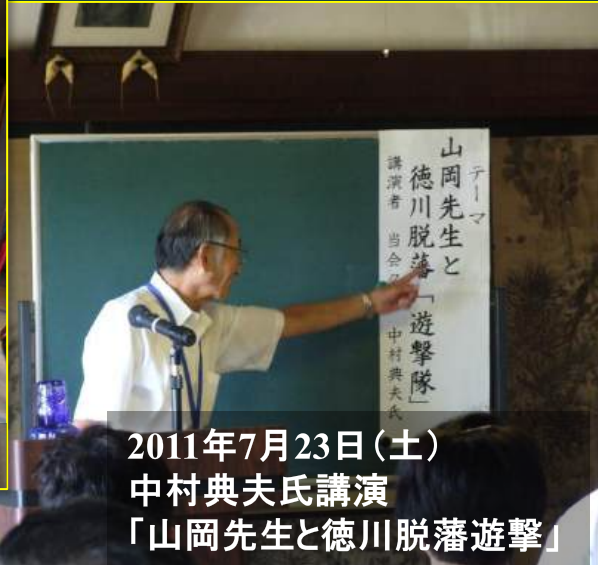
鉄舟寺での鉄舟忌



2009年7月24日(金)
鉄舟忌 宮田博夫氏講演
「次元を超えた鉄舟に今求めるもの」



2010年7月26日(月)



2011年7月23日(土)
中村典夫氏講演
「山岡先生と徳川脱藩遊撃」



2012年7月21日(土)
櫻川ぴん助社中 かつぼれ奉納



2013年7月14日(日)
増井春男氏講演
「山岡鉄舟の拓本について」



2017年7月22日(土)



2018年7月21日(土)

松本検氏により鉄舟寺に鉄舟坐像が献納された。 2008年8月2日(土)落成慶賛法要には100人が集まった。



山岡鐵舟像 建立の記



山岡鐵舟やまおかてつしゆ 姓は藤原 名は高歩 鐵舟と号す 父は 幕府飛騨郡代 小野朝右衛門おのあさむね (六百石) 母は 常陸国とちぎ(現茨城県)鹿野神社しかの社人 塚原石見の次女 鐵舟天保七年(一八三〇)六月十日 江戸に生まれる 父の任地 飛騨高山ひしかの(現高山市)にて少年期をすくすく 九歳にして剣の道を志し 久須美園ひさのみ道場に 眞影流まかげりゆうを学び 書は 十五歳の時 飛騨高山の 若佐一亭わかしよから弘法大師こうぼうだいし入木道いりきみち 五十二世の道統を受け 一乘斎と号す

嘉永五年(一八五二)父 朝右衛門死去 鐵舟は 幼い弟達を連れて江戸に帰着 弟達をそれぞれ他家へ養子に出し 自分は剣の道を極めようと井上清虎の門に入り 北辰一刀流きたてんいちりゆうを学び 捨衛すてゑは山岡静山しやまのについて刃心流やぶこころりゆうを学ぶ

安政二年(一八五五)静山急死にともない望まれて山岡家の養子となり 静山の妹 英子と結婚

剣の道は なお一刀流の正伝を極めるため 浅利又七郎あさりまたしちろう義明ぎめいに随学じゆがく十数年 明治十三年(一八八〇)三月三十日 明け方 無想剣むげんけんの極所を得て 同年四月 無刀流むとうりゆうの開祖となる

疎学そがくは 武州柴村さいむら(現川口市)長徳寺ちやうとくじ頼翁らいおう 豆州澤地まめしゅうざくち村むら(現三島市)龍澤寺りゆうさくじ屋定やしずみ 京都相国寺さうこくじ狭園せきえん 同徳順どうとくじゆん天龍寺てんりゆうじ清水 相州鎌倉さむらいくまがら金田かねだ覚寺かくじ洪川こうせんの五和尚ごわしやうに参じ終に天龍寺 清水和尚の印可を得る

慶応四年(一八六八)三月五日 十五代將軍徳川慶喜とくがわけいきの命を受け名代として慶喜討伐軍ていばつぐん(官軍)の支配下にある東海道を薩摩藩士さつまはんし 益清休文えきせいけいぶん之助のすけともない駿府すまの(現静岡市)の官軍大総督府だいそうとくふに向かった 陣營ちんえいを通過するに及び「朝敵 徳川慶喜の家来 山岡鐵舟てつしゆまかり通る」と名乗って動ずるところが無かった

大総督府だいそうとくふで参謀さんぼうの西郷隆盛せごうりゅうせいと会見し 主君慶喜が朝廷に対して恭順の意を表していることを伝え「同胞 相争うべきではない」と説いた 至誠の人鐵舟の説得に 西郷隆盛が心を打たれ 討伐一本やりの強硬派を押さえて 三月十三・十四両日の江戸薩摩藩邸さつまはんていにおける西郷 勝・山岡会談への道を開いた

官軍は この会談の結果を受けて四月十一日 江戸城に「無血入城」し百万都市 江戸は戦火を免れることができた

西郷隆盛の鐵舟評「命もいらす 名もいらす 官位も金もいらぬ このような始末に困る人なくては 艱難を共にして国家の大業を成し遂げることは出来ません」は今や 人物を評する時の格言となっている

明治五年(一八七二)六月十五日 西郷隆盛の強い要請により鐵舟は明治天皇の侍従となり 青年天皇の教育掛りとして十年間お側につかえ 明治十五年六月二十五日辞任した しかし 天皇は それを惜しまれ引き続き 宮内省御用掛を務めるよう命じた

鐵舟は 幕末と明治の激動期に世界の中の日本の未来を洞察し 一身を賭した行動で国家の危機を救い多くの有能な人材も育成して近代日本の基礎を築いた

明治二十一年七月十九日没 享年五十三 従三位勳一等子爵

鐵舟禪寺てつしゆぜんじ或名 鐵舟寺てつしゆじ殿前宮内少輔てんぜんみやうないしうぼう 従三位 雲外高歩大居士うんがいこうぽだいきし

居士の遺徳を偲び建立す

平成二十年七月十九日

静岡市清水区縁が丘町

松本 棟

撰文 東京都

坂部 健

静岡市

若杉昌敬

彫塑 高岡市

熊谷友児

制作 高岡市

平和合金

この礎石は 鐵舟禪寺建立に際し 明治二十一年十一月 清水次郎長こと 山本長五郎が寄贈したものである

正面の題字は「信」 鐵舟居士書

研究発表会の歴史



2006年1月30日(月)
坂部健氏「鉄舟が愛用した印鑑」



2010年2月21日(日)
塚本勝博氏「山岡鉄舟と松林流空手道」



2012年2月26日(日)
松永純一氏「東海大学と鉄舟寺」
講演後の懇親会記念撮影」

研究発表会の歴史



2013年2月23日(土)望月俊昭氏
「新しい世を開く鉄舟先生の大和の心」



2014年2月16日(日)坂中保弘氏
「歌謡曲と浪曲でつづる駿府の鉄舟」



2015年2月15日(日)松本 検氏
「徳川家康 出生の謎」



2016年2月21日(日)フランソワ・デルヴァー氏
「鉄舟と私」

「事務局だより」(会報)を毎月発行

最新 第239号 (2025年5月号)

○7月23日の鉄舟忌に参加しましょう
 7月23日(土)に鉄舟忌を開催します。午後3時(開場は午後2時30分)から「奉納・古伝武術演武会」(清水不二見公民館、鉄舟寺から徒歩約5分)、午後4時15分から読経、焼香(鉄舟寺)を予定しています。演武会は、一般公開(無料)もしますので、家族、友人と誘い合わせてお出かけください(別添パンフレットを参照)。なお、不二見公民館には駐車場がありませんので、会員の方は鉄舟寺の駐車場をご利用ください。
 また、演武会場設置の人手を求めています。都合のつく方は、午後1時30分までに会場へおいでください。

○17年度定期総会に54名が出席
 4月28日(土)、定期総会が清水文化センターで開かれ、会員総数70名のうち54名(うち委任状15名)が出席し、議案通り承認されました。当日は来賓として杉山清氏(清水郷土史研究会副会長)、坂部健氏(全生庵鉄舟会)をお迎えし、ご祝辞をいただきました。
 総会終了後、若杉昌敬氏(当会事務局長)が「山岡鉄舟とは」をテーマに研究発表を行い、発表後、来賓の山本紀久雄氏(鉄舟21サロン、東京の鉄舟研究会)から講評と激励をいただきました。



○本年度は活動を本格化させる年です
 16年度は、発足の年として組織固めの年度でしたが、本年度は活動を本格化させていきます。活動内容は、上記総会での議案の通り全生庵の再編(7月19日)への参加、当会独自の鉄舟忌開催(上記参照)、史蹟探訪(10月15日、由比・望楼亭)、研究発表会などです。この他に山岡鉄舟関連のイベントなども「事務局だより」などで随時ご紹介していきますので、調査・研究あるいは会員の相互交流のため誘い合って積極的にご参加ください。

■静岡・山岡鉄舟会/きのう/きょう/あした(当面の日程など)

4月	28日	平成17年度総会	清水文化センター
5月	29日	来訪者	鶴舞藩を知る会(千葉県)の役員(2名)来訪あり。望楼亭、鉄舟寺などを案内(事務局で対応)
6月	13日	役員会	本年度の活動内容について討議
	24日	役員会	鉄舟忌について詳細検討
7月	19日	毎歳忌	全生庵(東京)の毎歳忌に参加(役員)
	23日	鉄舟忌	奉納・古伝武術演武会(清水不二見公民館 15時~16時) 読経、焼香(鉄舟寺 16時15分~17時)

イベント案内 幕末三舟と白隠屋(引佐郡引佐町 大本山方廣寺奥山平僧坊 2/19~2/25) 山岡鉄舟、勝海舟、高橋元舟および白隠の墨蹟を展示している

会員のみならず皆様のご連絡や情報提供などのため、このたびの「事務局だより」を創刊し、随時発行していきます。内容などにつきましてご希望がありましたら、ご連絡ください。
 発行日:平成17年7月1日 [No. 001]
 発行:静岡・山岡鉄舟会事務局 千424-0935 静岡市清水区沼田町9-30 若杉昌敬方

VOL. 2006-01
山岡鉄舟を知るための図書

自らを語らずと、自身の事績を文書としてほとんど残していません。そのために鉄舟、彼の周辺にいた人達が語り伝えた資料をもとに調査・研究をしています。それら資料からできる代表的なものをいくつかご紹介します。

- 山岡鉄舟先生正伝
 石津寛・牛山栄治手記 帯風館 昭和12年
 内弟子であった小倉鉄樹が写ったことを、石津寛・牛山栄治が手記としてまとめたもので、編集者が所収を出しています(本体価格 4,800円)。
- 秋田屋書簡 昭和17年
 書き残した簡筆、建端などに勝海舟が評語を加えたもの。国書刊行会から新刊が出ています(本体価格 2,400円)。
- 勝海舟評伝・安部正人編 光臨館 明治35年
 の求めに応じて鉄舟が講義した口述筆記「山岡先生武士道義経伝説」をもとに、安部正人評伝の評語を合わせて編纂した。勝海舟長編で新刊も出ています(大東出版社 本体 2,500円)。

真面目

全生庵 大正7年 三代目住職の関山秋田が、鉄舟の家族、親戚、門人、知己などから聞いた話、また会へ寄贈された水定稿などをもとに編纂したもの。静岡県立中央図書館で所蔵しています。		
手となる書籍をご紹介します。	津本 編著	文藝春秋社(文庫文庫)
鉄舟伝	津本 編著	文藝春秋社(文庫文庫)
鉄舟 幕末・維新の仕事人	佐藤寛著	光文社(光文社文庫)
鉄舟	大森豊吉著	春秋社
鉄舟	小島英樹著	日本経済新聞社
と武士道 柳生宗矩から山岡鉄舟まで	山岡鉄舟(南野道著)	ちたばな出版

(1) 静岡・山岡鉄舟会、第22期(令和7年度)定期総会を開催します。
 議題案を同封しましたのでご確認ください。
【令和7年度総会】
 ○日時/ 令和7年5月24日(土) 13:30 受付
 14:00 総会
 15:00「静岡・山岡鉄舟会20年の歩み」
 ① スライドショー・VTR上映
 ② 会員によるショートスピーチ
 「山岡鉄舟と私」



○会場/ 清水テルサ 7階中会議室A
 (静岡市清水区島崎町223)
【懇親会】
 ○日 時/ 5月24日(土)17:30~19:30
 ○会 場/ 喜楽大花(昨年と同会場)
 (静岡市清水区江尻東3丁目10-13)
 右の地図をご参照ください。
 (清水テルサから徒歩で移動します。)

○懇親会費/ お一人7,000円
 15時からの催しと懇親会は会員以外の方もご参加いただけます。ご家族・ご友人など、お誘いください。
 (懇親会にご出席くださるご同伴者は懇親会費のご負担をお願いします。)
 ※ 総会ご欠席のお返事を同封のはがきで5月10日(土)までにご返信ください。
 総会をご欠席される場合は必ず委任状欄にご記入の上お送りください。
 ※ ショートスピーチ発表者を募集します。
 総会第2部で、ショートスピーチ(お一人5分程度)をされる方を募集します。
 スピーチのテーマは「山岡鉄舟と私」です。
 同封のはがきでお申し込みください。

(2) 会員の活動ご紹介
 ① 岩下哲典先生(東洋大学人間科学総合研究所長・文学部教授)がNHKテレビにスタジオ出演し、鉄舟を論じます。
 当会20周年記念講演会の講師、岩下哲典先生が、NHK4Kの人気歴史番組「英雄たちの選択 江戸横血闘城へのパトroller 幕末“三舟”×西郷隆盛」のスタジオで山岡鉄舟・高橋元舟らの業績を語ります。くれぐれもお見逃しなく。
【放送予定日時】
 NHK-BS 4Kテレビ 5月8日(木) 20:00~20:59
 NHK-BS 2Kテレビ 5月12日(月) 21:00~21:59
 (通常NHK-BS 101チャンネル)

創刊 第1号(2005年7月号)



第1回史蹟探訪 2005年10月15日(土)
望嶽亭で 松永さだよさんの話を聞く。

小川山岡鐵舟会会員9人を含めて、46人が参加。

静岡・山岡鉄舟会

鉄舟の足跡を訪ねて・・・史跡探訪・各地訪問



2008年11月7日(金)全生庵・谷中・大雄寺・上野公園



2009年11月4日(水)奥山半僧坊



2012年11月16日(金)伊豆松崎他



2010年10月30日(土)埼玉県小川町訪問

鉄舟の足跡を訪ねて・・・史跡探訪・各地訪問



2014年10月18日(土)川津来宮神社大祭で鉄舟大幟掲揚を見学



鉄舟の足跡を訪ねて・・・史跡探訪・各地訪問



2019年11月17日(日)藤枝 田中城址



2017年10月28日(土)奥山方広寺



2023年12月4日(月)箱根路に鉄舟を偲ぶ

静岡・清水に来訪された方々

設立後、最初のお客様

2005年11月26日(土)
山岡鉄舟研究会



来訪された方々のご案内と交流



2009年5月29日(金)
全生庵の皆様が清水へ



2012年11月24日(土) 淑徳大学 鉄舟寺訪問



2017年5月25日(木) S.F.座禅道場 来訪



2019年3月16日(土) 山岡鉄舟研究会 来訪

来訪された方々のご案内と交流



2023年10月18日(金)
飛騨高山山岡鉄舟研究会 来訪



2022年4月20日(水)山岡鉄舟に学ぶ会(富山県)来訪

うれしい出来事や様々な活動



2013年4月1日 設立10周年記念事業として発行

山岡鉄舟と静岡 ふるさとの歴史 再発見



幕末維新の英傑・山岡鉄舟は、静岡県（当時は静岡藩）の重役として静岡県内に多くの事績を残しています。その足跡を、今に残るゆかりのあれこれと巡ってみたい。



晴れてよし 曇りてもよし 不二の山
もとの姿は かはらざりけり

(鉄舟寺境内にある鉄舟歌碑の拓本)

中部①

鉄舟寺

静岡市清水区村松2188
電話 054-334-1203

もとは久能寺という。今の久能山にあって、およそ1400年前、推古天皇の時代、国主久能忠仁によって創立。その後武田信玄が今川氏を攻略し駿河に入り、久能山に築城することになり、天正3年(1575)現在の場所に移された。明治に入り、廣仏殿積(はいぶつせき)の混乱の中で久能寺も次第に衰退し、住職もいない寺になってしまった。

明治16年、鉄舟はこれを惜しみ再興を発願し、広く寄進を募った。ところが鉄舟は寺の完成を見ることなく明治21年にこの世を去り、清水の魚商芝野栄七が鉄舟の意志を引き継ぎ、明治43年に本堂が完成し、「鉄舟寺」として蘇った。

境内に鉄舟の歌碑「晴れてよし曇りてもよし不二の山 もとの姿は かはらざりけり」が富士に向かって建ち、平成20年には新たに鉄舟坐像が建立された。



山門前に鉄舟書の石碑

- 1 -

中部⑧

久能山東照宮 実割梅の記念碑

静岡市駿河区根古屋390
電話 054-237-2438

かつて駿府城に徳川家康お手植えと伝わる梅の木があった。この梅は「核おのづから」とことから「実割梅」と呼ばれていた。所の混乱の中で、この由緒ある梅がりを惜しんだ久能山東照宮の宮司喜の許しを得て、この梅の木を社殿多植した。そして明治9年、この梅のため記念碑を建てた。

この碑文「実割梅之碑」は勝海舟の、割梅之記の五文字は鉄舟の筆で



梅の木の樹齢は370年余

- 8 -

中部⑨

西郷・山岡会見の碑

静岡市葵区伝馬町1-2地先

慶応4年(1868)3月9日、鉄舟が東征軍参謀西郷隆盛と会見した松崎屋源兵衛宅跡地に鉄舟が西郷と会見した碑が建っている。この会見によって徳川幕府15代将軍徳川慶喜の処遇をはじめ、江戸城の明け渡し、軍艦・武器の引渡しが合意された。

このとき西郷は、鉄舟の人格に感銘を受け、「命もいらす名もいらす、官位も金もいらぬ。このような始末に困る人でなくては、艱難をともにして国家の大業を成し遂げることはできない」と鉄舟を評したと伝えられている。

後に勝海舟と西郷の会談により講和条件が最終的に決定され、江戸城無血開城が実現した。なお、この会見の碑は、昭和42年静岡市文化財に指定されている。



西郷と鉄舟の会見の碑

- 9 -

中部⑥

藤屋 望嶽亭

静岡市清水区由比倉沢84-1
電話 054-375-3486

室町時代末期には、座敷から眺める富士山が絶景であったために「望嶽亭」と名づけられ、すでに名所絵図にその名を残している。江戸時代に入り、東海道五十三宿の「由比」と「興津」との間宿(あいのしゅく)で脇本陣、お立場(たてば)、茶亭、網元の「藤屋」として有名になり、多くの文人墨客が訪れた。

松永家(望嶽亭)の伝承によると、慶応4年(1868)3月7日深夜、鉄舟は、目的の駿府を目前に薩摩隊で官軍に追われ望嶽亭に逃げ込んだ。主人の松永七郎平は、とっさに蔵座敷に通し、漁師姿に着替えさせた。鉄舟は、船頭栄兵衛の操る船で清水湊に向かい、次郎長の手助けで無事に駿府に着き、西郷隆盛との談判を果たした。



薩摩隊の登り口にある望嶽亭

- 6 -



2011年3月12日(土)
鉄舟坐像マケット入魂式

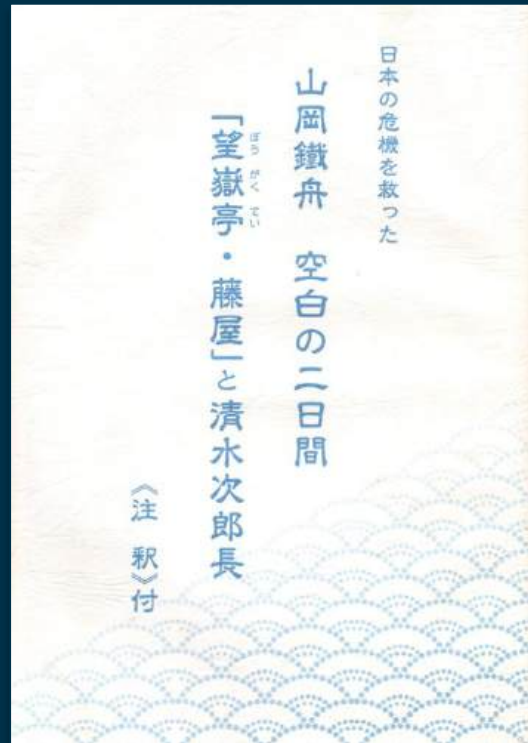


2015年4月11日(土)
久能山東照宮に鉄舟書を奉納



2015年5月23日(土) 矢倉神社に手水鉢説明板奉納

2014年11月23日(祝) 若杉昌敬氏「山岡鐵舟空白の二日間」出版



お別れも……



花森憲一 会長 2014年4月25日 逝去



松本検 顧問 2017年12月11日逝去 14日(木) 葬儀



香村俊明 住職 2018年5月15日遷化 21日(月)密葬

2018年は明治150年。様々な催しが開催された。

2月7日(水) 駿府ウェイブ主催の講演会で、若杉昌敬さん・手塚喜和子さんが講師を務める。演題「山岡鉄舟と静岡」。



2018年以前からも、公民館講座、ロータリークラブ卓話、「みのり大学」「清見潟塾」(社会人講座)、静岡ユネスコ協会など、外部主催の講演会からの依頼に対して、松本検さん、花森憲一さんなどの講師派遣、多数。

2018年4月1日 次郎長生家～駿府伝馬町ウォーク



活発な活動(明治150年)



2018年9月29日(土)静岡・山岡鉄舟会 設立15周年記念 明治150年古武道演武大会を開催(清水総合運動場・武道場)。



2018年10月17日(水)
清水次郎長と山岡鉄舟をテーマにした清水小学校 小泉達生先生の授業を参観。



2018年10月28日(日)
この年の史跡探訪は奥津駅～望嶽亭のウォーク

設立20年を迎えた昨年 2024年も……



研究発表会
2024年2月18日(日)塚本源氏
「筆跡から紐解く幕末三舟と西郷隆盛の人物像」



総会記念講演会
2024年5月18日(土)久能山東照宮 姫岡恭彦 宮司
「久能山東照宮と山岡鉄舟」～明治維新は静岡から始まった～



史跡探訪
2024年12月14日(土)浜松市の鉄舟のゆかりの史跡を探る

鉄舟寺とともに・・・鉄舟寺の災害復興を願って 会員からの寄付 341,000円を鉄舟寺に寄託



設立20年記念行事 2025年1月11日(土)開催

※ このページは、20周年祝賀会後
本総会にあわせて追加したもの。



静岡・山岡鉄舟会は

これからも進んでまいります。



静岡・山岡鉄舟会

設立20周年記念